

鈴木貞一関係文書目録

2022年3月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

凡例

- タイトルは原則として資料の原題に基づくが、目録作成者が適宜付与したものには〔 〕を付した。
- 作成者、宛先、年月日で、推定したものは〔 〕を付した。
- 数量については、付属資料の点数を含んでいない。一文書中に形態が異なるものが複数存在する場合、1枚+1綴というように形態別に数えた。
- ホチキスなどの金属類の除去を行った。このことについての記述はしていない。
- 目次「2.戦後政策意見（岸内閣、佐藤内閣）」「6.意見書等（2022年追加分）」に相当する資料につき、論題が付されていない資料のタイトルは冒頭文言を書き写した。

本目録の資料番号1～111番は、憲政資料室が大江洋代氏（当館非常勤調査員）に、資料番号1001～1004番は、飯窪秀樹氏（国際日本文化研究センター共同研究員）に依頼して作成したものである。

鈴木貞一関係文書

- 1.書簡（鈴木貞一書簡 奥村喜和男宛）（資料番号1～14）
- 2.戦後政策意見（岸内閣、佐藤内閣）（資料番号15～23）
- 3.回想（原本）（資料番号24～52）
- 4.回想（翻刻）（資料番号53～76）
- 5.日記（資料番号77～111）
- 6.意見書等（2022年追加分）（資料番号1001～1004）

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1.書簡（鈴木貞一書簡 奥村喜和男宛）（資料番号1～14）					
1	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男 (内閣調査局調査官)	〔昭和13年〕10月22日	数量 1通(4枚) 内容 昨夜の貴電で電力国策閣議決定を承知し、天を仰ぎ感謝、新国防国家の再組織を完成し、大和民族の永遠的発展の根基を確立 記述法 墨書 備考 軍事郵便
2	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	3月6日	数量 1通 内容 着任早々新たなる活動に入る、東満の守りに精進するので大兄等は一意今後の大機に応ずる国家態勢の確立に急進いたされたく、頼母木老、佐々木大兄によろしく 記述法 墨書 備考 軍事郵便(簡易書簡)
3	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	4月11日	数量 1通 内容 本日拝趨の予定であったが急用が起り、参りかねるので、明日天気が良ければ是非伺う 記述法 墨書
4	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	8月30日	数量 1通(2枚) 内容 産報問題ご相談申上度、御来駕お願い 記述法 墨書
5	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男 (企画院)	5月27日	数量 1通(3枚) 内容 諸兄の奇書き御礼、内閣も御一新の様子、時代に適応的の方策を実行する人事を切望 記述法 墨書 備考 軍事郵便
6	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男 (内閣調査局)	8月19日	数量 1通 内容 満洲は天晴地明の気分濃厚 記述法 ペン 用紙 絵葉書(奉天ヤマトホテル)
7	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	14日	数量 1通 内容 本日横浜へ向かう 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
8	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	昭和23年/4月12日	数量 1通(2枚) 内容 入獄以来の御配慮、御礼、愈々本日裁判審議終り判決を待つのみ、判決は如何にあるも真理は永久、人類平和の真道の叫びが焦土の日本より立ち上がると確信 記述法 鉛筆 用紙 陸軍野紙 備考 巢鴨より。封筒なし。
9	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	〔昭和27年〕6月18日	数量 1通 内容 小生入所以来、市ヶ谷裁判について一方ならぬ尽力に預かるも無音に打ち過ぎたこと申訳なく、愈々通信も自由になったので従来のご無沙汰を詫び入る、大兄等新人の活躍に一縷の望み 記述法 ペン 用紙 葉書 備考 巢鴨より
10	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	〔昭和27年〕6月27日	数量 1通(4枚) 内容 令夫人からの手紙で往年を追憶、選挙応援 記述法 墨書
11	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	〔昭和27年〕8月29日	数量 1通(4枚) 内容 御両人様御来訪嬉しい、(選挙の)勝敗は時の運、大兄の愛国の熱情は国民に焼きつけられたので、年後には一挙に国民の総帥となり、国権回復に実果を得よう 記述法 墨書
12	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	8月14日	数量 1通(2枚) 内容 嘗ての大臣大将達の言動に接し皇国の敗因、茲に存するかと痛嘆、新日本の建設は草莽にして偉大なる人生観を有する人々の教育が肝要 記述法 墨書 備考 巢鴨より
13	鈴木貞一書簡	鈴木貞一	奥村喜和男	4月12日	数量 1通 内容 昨日憂患の世に得がたき時を過ごせた御礼。味噌少々御届。明日御光来ありたく。 記述法 墨書
14	収納封筒				数量 1枚 合綴注記 もと資料番号1～13を収納

2.戦後政策意見
(岸内閣、佐藤内閣) (資料番号15～23)

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
15-0	封筒「岸内閣時代主として安保」	鈴木貞一			数量 1枚 内容 日々の電話や会談記録、政局に関する見解の記録を入れていた 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号15-1～18を収納
15-1	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		2月21日	数量 1枚 内容 松永安左衛門、小林中、山田勝規 記述法 ペン
15-2	非核武装問題	鈴木貞一		2月12日	数量 2枚 内容 平岸氏との電話 記述法 ペン
15-3	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		2月11日～6月17日	数量 98枚 内容 岸、佐藤、船田、森清、川島、三木武夫、藤井常治、奥村、千葉、福田、佐藤、松永 記述法 ペン
15-4	政局	鈴木貞一		6月17日	数量 4枚 記述法 ペン
15-5	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		6月18日～6月24日	数量 20枚 内容 川島、岸、井野、椎名 記述法 ペン
15-6	各方面説得の中心思想 安保条約改定阻止運動の意味するもの(革命)	鈴木貞一		5月25日	数量 19枚 記述法 ペン
15-7	対英懇談要点	鈴木貞一		10月1日	数量 2枚 記述法 ペン
15-8	安保条約改定阻止運動の意味するもの	鈴木貞一		5月9日	数量 8枚 記述法 鉛筆
15-9	思索答	鈴木貞一		5月25日	数量 24枚 記述法 ペン
15-10	第二稿 外交思索	鈴木貞一		〔5月27日〕	数量 14枚 記述法 ペン
15-11	第一稿 改造の爲め思索	鈴木貞一		〔5月27日〕	数量 5枚 記述法 ペン
15-12	第一稿 思索答	鈴木貞一		〔5月27日〕	数量 14枚 記述法 ペン
15-13	革命運動粉碎に関する件	鈴木貞一			数量 9枚 記述法 鉛筆

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
15-14	ソ連が首脳会談及米ソ会談に熱心なる原因乃至意図	鈴木貞一			数量 16枚 記述法 ペン
15-15	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		7月5日～10月15日	数量 109枚 内容 岸、吉田茂、佐藤、大久保武雄、川島、船田 記述法 ペン
15-16	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		7月6日～12月6日	数量 1綴 内容 岸、佐藤 記述法 ペン
15-17	同志糾合のための問答課題	鈴木貞一			数量 4枚 記述法 鉛筆
15-18	吉田茂氏との会談要旨	鈴木貞一		10月1日	数量 1綴 記述法 ペン
16-0	封筒「極秘案件原稿 18/10」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号16-1～3を収納
16-1	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		10月18日～12月10日	数量 46枚 内容 岸、森清、三木武夫 記述法 ペン 用紙 ペン
16-2	秘 新安保条約締結に伴ふ経緯の一端	鈴木貞一			数量 3枚 記述法 ペン
16-3	〔懇談・電話記録〕	鈴木貞一		1月6日～2月10日	数量 71枚 内容 岸、吉田茂 記述法 ペン
17-0	封筒「原稿類 岸時代」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号17-1～8を収納
17-1	経済統計調査	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
17-2	現下の世界平和は米「ソ」両国の力の均衡に保持されつつある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
17-3	華僑との懇談の件	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
17-4	公社問題分科会	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
17-5	岸君、私は君が我国政界の最高地位に就かれて時代適応的な善政を指導されることを巢鴨生活否な戦前から待望してきた一人である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
17-6	一月十三日岸氏との会談 於岸邸	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
17-7	産業統計の信頼薄弱なる原因	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
17-8	第二次世界大戦の結果は急速なる発達を遂げつつある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
18-0	封筒「原稿 岸内閣時代」	鈴木貞一			数量 1枚 付属資料 資料番号18-1～10の収納被収納関係を示した図(憲政資料室資料整理者作成)、1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号18-1～10を収納
18-1	岸氏訪英のための要研究事項	鈴木貞一			数量 2枚 記述法 鉛筆
18-2	我国を共産革命の魔手より救い真の民主主義に立つ自由な平和国家たらしむるためには	鈴木貞一			数量 3枚 記述法 ペン
18-3	台湾問題思索大綱	鈴木貞一			数量 1綴(14枚) 記述法 ペン
18-4	〔レターパッド〕	鈴木貞一			数量 1冊 記述法 鉛筆 用紙 コクヨ書翰箋 備考 表紙に焦げ跡、計算メモのみ
18-5	〔人物相関図〕ほか	鈴木貞一			数量 1綴 内容 〔人物相関図〕、革命勢力分析、利根川治水、治水協議 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
18-6	池田氏への公開質問 ほか	鈴木貞一			数量 1綴 内容 池田氏への公開質問、第十九世紀以来の国際秩序、中共問題、中立政策の前提条件 記述法 ペン 備考 パッド(ピンクの表紙)、ページ外れあり
18-7	一、国民生活の向上発展と福祉の増進 二、産業の近代的拡充発展	鈴木貞一			数量 6枚 内容 国民生活の向上発展と福祉の増進、中共の本質、日本民族の現状、国政の根本問題 記述法 ペン 合綴注記 もと資料番号18-4に挟み込み
18-8	中立問題研究	鈴木貞一			数量 14枚 記述法 ペン 合綴注記 もと資料番号18-4の下
18-9	選挙に方り国民の声 ほか	鈴木貞一			数量 63枚 内容 選挙に方り国民の声、選挙民のために、中共との関係に就いて、核武装、政局指導要領、内閣改造構想、国策審議会、〔終戦以来の我国内外の情勢〕、旅行の目的、中立主義的外交政策に立つソ連との友好関係、〔大野派について〕、日本の防衛政策、ゼネスト対策 記述法 ペン、鉛筆 備考 パッド(原稿用紙)に挟み込まれているがすべてページ外れ 合綴注記 もと資料番号18-8の下
18-10	政界底流 ほか	鈴木貞一			数量 60枚 内容 政界底流、河野の心底、松村、石橋等、石橋訪中の後に来るもの、緊張緩和に就て、防衛計画之案上検討を要する件、緊張緩和、平和共存、共存競争、防衛計画立案上検討を要する件、平和共存、共存的競争、緊張緩和の意識、緊張緩和に処する大方針、ゼネスト対策、革命阻止のため、非常事態宣言令、安保新条約に伴ふ国労問題、〔人物相関図〕、ゼネスト対策の研究 記述法 ペン、鉛筆 備考 パッド(コクヨ書翰箋)に挟み込まれているがほぼページ外れ 合綴注記 もと資料番号18-9の下
19-0	封筒「佐藤内閣時代原稿 内閣改造以後第二次改造四〇年八月迄」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号19-1~60を収納
19-1	北方安全操業交渉に就て	鈴木貞一		昭和41年6月25日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
19-2	内閣の人気問題に就て	鈴木貞一		昭和41年6月27日	数量 1枚 記述法 ペン
19-3	現下の経済不況は深刻である	鈴木貞一		7月11日	数量 1綴 記述法 ペン
19-4	〔東京の選挙〕	鈴木貞一		昭和40年7月25日	数量 1綴 記述法 ペン
19-5	経済不況克服寸言	鈴木貞一		昭和40年7月11日	数量 1綴 記述法 ペン
19-6	都議選への内省	鈴木貞一		昭和40年7月24日	数量 1綴 記述法 ペン
19-7	都会議員選	鈴木貞一		昭和40年7月25日	数量 1綴 記述法 ペン
19-8	今後の党の結束	鈴木貞一		昭和40年7月10日	数量 1綴 記述法 ペン
19-9	総裁の指導宜しきを得るに於ては党は自ら総裁を河野氏か閣外に去りたる時彼の性格及過去に於ける彼の政治的行為に省み或は完全党内野党化するにあらざるやを懸念したるも彼の死去により此懸念は一掃せられ今や総裁を中心とする党の新たなる強化を推進すへき	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-10	党近代化に関する一考察	鈴木貞一		昭和40年9月3日	数量 1綴 記述法 ペン
19-11	党近代への寸言	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-12	日韓基本条約批准国会に就て	鈴木貞一		昭和40年9月20日	数量 1綴 記述法 ペン
19-13	1970年を目標とする社共両党の革命企図	鈴木貞一		昭和40年9月20日	数量 1綴 記述法 ペン
19-14	社会党の政治活動の目的	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-15	一九七〇年前後に処する政治	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
19-16	「ソ」連油活用上の考察	鈴木貞一		昭和40年10月3日	数量 1綴 記述法 ペン
19-17	日「ソ」経済協力に関する一考察	鈴木貞一		昭和40年10月3日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 1枚目は別の論題（部分）が綴じこまれている
19-18	最近に於ける「ソ」連の対日接近姿勢と日「ソ」経済協力と不況に悩む我国経済界との実情とは	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-19	日「ソ」平和条約交渉に就て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-20	日「ソ」国交調整に就て	鈴木貞一		昭和40年10月25日	数量 1綴 記述法 ペン
19-21	対「ソ」外交推進上ノ留意	鈴木貞一		昭和41年1月30日	数量 1綴 記述法 ペン
19-22	日韓条約の批准を機として内外諸般の活発なる推断に邁進すへきてある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-23	前略 日夜御多忙の御様子健康に特にご留意被遊度御願ひいたします	鈴木貞一			数量 1綴 内容 海運スト回避(佐藤栄作宛書簡控) 記述法 ペン
19-24	中近東	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-25	青年問題は極めて重大にて何人と雖も之の健全なる成長発達を願はざるものない	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-26	時事片言12月5日	鈴木貞一		昭和40年12月4日	数量 1綴 記述法 ペン
19-27	時事片言12月7日	鈴木貞一		昭和40年12月7日	数量 1綴 記述法 ペン
19-28	政局に関する内省	鈴木貞一		昭和40年12月7日	数量 1綴 記述法 ペン
19-29	政局の底流に就て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
19-30	核武装問題思索の基本議論参考	鈴木貞一		昭和31年3月6日	数量 1綴 記述法 ペン
19-31	沼田ダムに関する件	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
19-32	社会党の企図分析	鈴木貞一		昭和40年12月12日	数量 1綴 記述法 ペン
19-33	社会党の企図	鈴木貞一		昭和40年12月12日	数量 1綴 記述法 ペン
19-34	ハンフリー副大統領との会談参考	鈴木貞一		昭和40年12月25日	数量 1綴 記述法 ペン
19-35	ハンフリー来日に関し思索	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-36	「ソ」連は何故ベトナムを援助し対米非難の声を大にしつつあるか	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
19-37	米中戦争の潜在性	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-38	ベトナム平和交渉推進協力の参考	鈴木貞一		昭和41年1月10日	数量 1綴 記述法 ペン
19-39	ベトナム問題に関し我が国米国と表裏一体的関係に於て武力戦の終息と和平交渉の推進に積極的努力を払ふことは内外に対し極めて機宜に適する方途たるを失はず	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-40	外相訪「ソ」の結果に就ての考察	鈴木貞一		昭和41年1月21日	数量 1綴 記述法 ペン
19-41	外相訪米の結果に就ての考察	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
19-42	「ソ」連が「日ソ」友好を深めることで日本と第三国との関係を阻害しないと思ふと述べたることにより我国には早くも「ソ」連は日米安保条約の存続に反対せず少なくとも之を黙認するものであると速断する向きもある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-43	中共要人今次の訪日目的に「米国帝国主義反対闘争の拡大」と云ふことを述べていること我国を侮蔑せる重大なる内政干渉である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-44	ベトナム戦争を中心とする「ソ」連の動きは頗る複雑である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-45	中共要人の入国拒否問題	鈴木貞一		昭和41年3月20日	数量 1綴 記述法 ペン
19-46	人間尊重と社会開発	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-47	米軍有事駐留と常時駐留とか議論を捲き起しているが何れも之の議論の根底が不確実である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-48	ベトナム問題に就て	鈴木貞一		昭和41年4月10日	数量 1綴 記述法 ペン
19-49	内閣改造に就て	鈴木貞一		昭和41年4月9日	数量 1綴 記述法 ペン
19-50	松村氏今次の言動は帰する処	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-51	一稿 来るべき日米合同経済委員会	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
19-52	二稿 来るべき日米合同経済委員会	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
19-53	三稿 来るべき日米合同経済委員会	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-54	九 日米間の問題に就ては米側の立場を理解すると共に我方の立場を遠慮なく開陳すべく	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-55	「ベトナム」問題に関する対米申入れの件	鈴木貞一		昭和40年6月10日	数量 1綴 記述法 ペン
19-56	革命四〇年を経たる「ソ」連の社会的変化	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-57	北方水域の安全操業交渉に就て	鈴木貞一		昭和41年6月25日	数量 1枚 記述法 ペン
19-58	ベトナム戦に関するソ連の態度	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
19-59	ハンフリーとの会談参考	鈴木貞一		昭和40年12月25日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
19-60	ソ連外相の訪日に就て	鈴木貞一		昭和41年4月1日	数量 1綴 記述法 ペン
20-0	封筒「佐藤内閣時代原稿 三九、一二月佐藤氏組閣時より内閣改造直前迄」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号20-1～49を収納
20-1	川島三木氏との面会心構	鈴木貞一		昭和39年10月28日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-2	外交の基調	鈴木貞一		昭和39年11月5日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-3	第二回川島三木氏との会談心構	鈴木貞一		昭和39年10月31日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-4	現下国際情勢	鈴木貞一		昭和39年	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-5	現下の党情	鈴木貞一		昭和39年12月10日	数量 1綴 記述法 ペン
20-6	極秘 骨格形成人事に就て	鈴木貞一		昭和39年12月22日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
20-7	対中共（附対台湾）政策の骨子	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-8	中共の核爆に関する問答	鈴木貞一		昭和39年12月	数量 1綴 記述法 ペン
20-9	中共外交路線	鈴木貞一		昭和39年12月10日	数量 1綴 記述法 ペン
20-10	中共の核実験	鈴木貞一		昭和39年10月20日	数量 1綴 記述法 ペン
20-11	インドネシアの国連脱退	鈴木貞一		昭和40年1月3日	数量 1綴 記述法 ペン
20-12	列国の対中共政策樹立上の根本思想に就て	鈴木貞一		昭和40年1月6日	数量 1綴 記述法 ペン
20-13	秘 宰相最大の要務は閣僚及党人事の決定である	鈴木貞一		昭和40年10月10日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-14	対中共政策樹立の根本	鈴木貞一		昭和40年1月6日	数量 1綴 記述法 ペン
20-15	今日共産主義を称へ資本主義を埋没すると称し資本国である英、仏など国交を回復し	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-16	中共とインドネシアとの関係	鈴木貞一		昭和40年1月17日	数量 1綴 記述法 ペン
20-17	世界平和の保持にアジアの平和を確保	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
20-18	会議要旨	鈴木貞一		12月26日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-19	東南問題	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
20-20	外交方針	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-21	平和共存	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-22	対中共政策推進上国民政府説得の件	鈴木貞一		昭和40年2月10日	数量 1綴 記述法 ペン
20-23	「マルタ」島開発参加の件	鈴木貞一		4月30日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
20-24	医療問題	鈴木貞一		昭和40年	数量 1綴 記述法 ペン
20-25	外交の推進力	鈴木貞一		昭和40年	数量 1綴 記述法 ペン
20-26	外交の推進力に就て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-27	会議に於て我国に取り	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-28	A A 地域諸国の安全と平和確立	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-29	「ベトナム」問題に関する一考察	鈴木貞一		昭和40年4月23日	数量 1綴 記述法 ペン
20-30	東南亜情勢思索の基礎	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-31	世界の大勢	鈴木貞一		5月25日	数量 1綴 記述法 ペン
20-32	国政の思索根底	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-33	秘 政局指導上の一考察	鈴木貞一		6月10日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-34	対中共政策の骨子	鈴木貞一		昭和39年12月3日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
20-35	政局指導に関する一考察	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-36	内閣改造は概ね御企図の如く終了一先同慶	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-37	内閣改造は概ね御企図の如く終了一先同慶	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-38	人は自分に不利なことに直面することを嫌ふものである	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-39	東南情勢	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-40	改造に就ての内省	鈴木貞一		昭和40年5月25日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
20-41	反帝反植民地問題 取扱参考	鈴木貞一		昭和40年6月15日	数量 1綴 記述法 ペン
20-42	世界平和特にアシヤの平和確立日米の緊密なる協力関係は絶対的必要事	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-43	日本の産業構造	鈴木貞一		7月11日	数量 1綴 記述法 ペン
20-44	高度成長政策	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-45	我国経済は今や非常時に突入せんとしている	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-46	諭の死去	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-47	自民党々員の一九七〇年危機の認識と使命観の確立	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-48	ソ連油活用上の考案	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
20-49	「アンダーソン」「ローリー」両氏に対し首相の接触のため	鈴木貞一		4月10日	数量 1綴 記述法 ペン
21-0	封筒「四一、八月以降 四二、度」(ママ)	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号21-1～54を収納
21-1	中共問題を借る権力闘争	鈴木貞一		昭和41年9月16日	数量 1綴 記述法 ペン
21-2	総裁の公選に就	鈴木貞一		昭和41年10月8日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
21-3	政治家である以上一度は政権の座に就き之の経論を行はんとする意欲に動くことは当然である	鈴木貞一			数量 1綴 内容 藤山(愛一郎カ)について 記述法 鉛筆
21-4	藤山氏今回の立候補は政道に悖り保守党に対する一種の反道行為である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
21-5	気宇広大なる国策設定の要	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
21-6	毛佐藤の戦	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
21-7	昨今の政治家に関し好ましからさる色々の噂や批難が叫ばれている	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-8	昨今田中幹事長の進退か党の内外に於て問題となっているが之れが決定には川村氏の処遇と共に慎重なる検討決断を要する	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-9	田中幹事長の進退か党内の問題となっているが之れが決定には川村氏の処遇と共に慎重なる検討を要する	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-10	我国の領土防衛上の本質論	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
21-11	政局	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-12	今後(藤山派と中共)	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
21-13	国の外交は国際政治上に於ける自己の権威を高むると共に之れにより国益の追及に利するものである	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
21-14	公選後の政局指導に関する思索の一端	鈴木貞一		昭和41年12月1日	数量 1綴 記述法 ペン
21-15	今次の内閣改造は国政上重大な重要な絶対なる必要に基くにあらずして寧ろ党風の刷新	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
21-16	政局指導の参考	鈴木貞一		昭和41年12月14日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
21-17	中共情勢一考察	鈴木貞一		昭和41年12月25日	数量 1綴 記述法 ペン
21-18	佐藤氏への説明手交総選挙に関する内省	鈴木貞一		昭和42年1月31日	数量 1綴 記述法 ペン
21-19	藤山の演説の第一節	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
21-20	之の原因を積年の疲弊といったような長年の習慣や選挙制度の欠陥といった制度上の問題に求めるようなことがあってはならない	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン 備考 前欠
21-21	自民党内部の粛党グループと称する分子の動静により選挙後行はるる首班指名か如何になるかが懸念せられたる処	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-22	核拡散防止条約に就いて	鈴木貞一		昭和42年年2月20日	数量 1綴 記述法 ペン
21-23	東京都知事選に就いて	鈴木貞一		昭和42年4月8日	数量 1綴 記述法 ペン
21-24	都知事選の一考察	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-25	中近東情勢の一考察	鈴木貞一		昭和42年5月25日	数量 1綴 記述法 ペン
21-26	中近東情勢	鈴木貞一		昭和42年5月25日	数量 1綴 記述法 ペン
21-27	中東情勢に関する一考察	鈴木貞一		昭和42年6月15日	数量 1綴 記述法 ペン
21-28	三木コ氏会談に於てコ首相が平和条約問題に触れたからして北方領土問題に関しソ連に何等かの変化を招来しつつあるや	鈴木貞一		昭和42年7月22日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
21-29	我世界政策の眼目に関する一考察	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-30	東南亜歴訪の心構の一端	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-31	外交眼目	鈴木貞一		昭和42年9月10日	数量 1綴 記述法 ペン
21-32	訪台思索の一端	鈴木貞一		8月21日	数量 1綴 記述法 鉛筆
21-33	沖縄問題妥結要項(案)	鈴木貞一		昭和42年9月20日	数量 1綴 記述法 ペン
21-34	沖縄返還問題	鈴木貞一		昭和42年9月20日	数量 1綴 記述法 ペン
1-35	訪米会談寸言	鈴木貞一		昭和42年11月5日	数量 1綴 記述法 ペン
21-36	宰相間外交会談に於て	鈴木貞一		昭和42年11月5日	数量 1綴 記述法 ペン
21-37	国際情勢一般	鈴木貞一		昭和42年12月3日	数量 1綴 記述法 ペン
21-38	一国の首相として外交相手の胸中を忖度し臨機対応の道を講て行くべきは勿論であるか之れにも増して重要なことは我方の主張に関し之の正当性と妥当性に就て強固なる信念を保有することである	鈴木貞一		昭和42年	数量 1綴 記述法 鉛筆
21-39	ソ連は過去十数年に亘り新興アラブ諸国に対し軍事、経済等有力なる分野に亘り多大の援助を与へ今次戦乱の発生をみるや之の好機至として	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-40	情勢判断摘要	鈴木貞一		昭和42年11月5日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
21-41	現下に於て財政を 圧迫しあると思考 せらるもの	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-42	秘 内閣改造に就	鈴木貞一		昭和42年10月 20日	数量 1綴 記述法 ペン
21-43	人事未定稿	鈴木貞一		昭和42年10月 20日	数量 1綴 記述法 ペン
21-44	現閣僚及党執行部 甚だしき失態なき 限り人事の異動は	鈴木貞一		昭和40年10月 20日	数量 1綴 記述法 ペン
21-45	ABM問題と軍縮	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-46	財政硬直化に就て	鈴木貞一		昭和42年10月 20日	数量 1綴 記述法 ペン
21-47	長期政権の確立上 今後最大の重要事 は公明党の衆議院 進出である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-48	思索参考	鈴木貞一		昭和41年7月3 1日	数量 1綴 記述法 ペン
21-49	極東の平和と安全 保障に就て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-50	中共の権力構造が 今次の文化革命に より一応毛一劉少 奇ラインから毛一 林ラインに移行せ ることは略ね確実 である	鈴木貞一		昭和41年9月4 日	数量 1綴 記述法 ペン
21-51	内省	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-52	中共革命	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
21-53	支那文化革命の一 考察	鈴木貞一		昭和41年8月2 6日	数量 1綴 記述法 ペン
21-54	尚ほ今回の文化革 命に因る中共の対 外関係に就ては恐 らく孤立化の傾向 を辿る	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン 備考 前欠

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
22-0	封筒「四三、度」 (ママ)	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号22-1～50を収納
22-1	明治維新建国百年 記念に寄せて	鈴木貞一		昭和42年12月 15日	数量 1綴 記述法 ペン
22-2	一九七〇年大機に 処するスケジュール	鈴木貞一		昭和42年12月 15日	数量 1綴 記述法 ペン
22-3	ちなみに現下憂堪 へさる我国之風の 一端を挙げば概要 左の如し	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-4	共同声明に現はれ たる日米首脳会談 の結果	鈴木貞一		昭和43年11月 20日	数量 1綴 記述法 ペン
22-5	訪米成果内省	鈴木貞一		昭和42年12月 10日	数量 1綴 記述法 ペン
22-6	ソ連副首相の来日 に就て	鈴木貞一		昭和43年1月2 日	数量 1綴 記述法 ペン
22-7	現下我国外交の最 終的にして最大の 眼目は米ソの武力 衝突の阻止である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-8	今日の如く変化の 甚たしき時代に於 て国政掌理に当る に際しては現代の 世相を詳察すると 共に	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
22-9	解散問題に就て	鈴木貞一		昭和44年1月2 0日	数量 1綴 記述法 ペン
22-10	議員二十五年表彰 に寄す	鈴木貞一			数量 1綴 内容 千葉君へ 記述法 ペン
22-11	ソ連の動向と国際 政局	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
22-12	本年末に於ける総 裁公選を控へて	鈴木貞一		昭和43年3月7 日	数量 1綴 記述法 ペン
22-13	第一稿 自民党の 内部に来るべき総 裁選を控へて	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
22-14	日中貿易交渉の経過及結果を見るに如何にも我国の權威を失墜すること甚だしきものがある	鈴木貞一		昭和43年3月5日	数量 1綴 記述法 ペン
22-15	非核宣言に就て	鈴木貞一		昭和43年3月1日	数量 1綴 記述法 ペン
22-16	国会論戦を通じて	鈴木貞一		昭和43年3月1日	数量 1綴 記述法 ペン
22-17	去月三十一日のジョンソン声明に対するベトナムの反応によりベトナム問題が政治的解決への端緒に到達し得たる	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-18	去月三十一日のジョンソン声明と之れに対する北ベトナム政府の反応とにより米国が長く求め来りたるベトナム問題の政治的解決への曙光を見るに至りたるは	鈴木貞一		昭和43年6月10日	数量 1綴 記述法 ペン 合綴注記 「ソ連と打合せ済みか」(〔毎日新聞昭和43年4月4日朝刊〕記事切抜) 合綴
22-19	現下の国政情勢を大観するに第二次大戦以来のエデオルキー的な構想時代を經過して今や新なる国家主義の下に国益追及を第一とする	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-20	国家社会の革命の条件	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-21	国際通貨問題	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-22	核軍縮に就て	鈴木貞一		昭和43年6月20日	数量 1綴 記述法 ペン
22-23	選挙を顧みて	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-24	学生運動に就て	鈴木貞一		昭和42年7月10日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
22-25	基地問題に就て	鈴木貞一		昭和43年7月7日	数量 1綴 記述法 ペン
22-26	基地問題に就て (二稿)	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-27	一稿 佐世保の異常放射能	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-28	公選資料	鈴木貞一		昭和43年7月20日	数量 1綴 記述法 ペン
22-29	川島氏との対談	鈴木貞一		昭和43年7月20日	数量 1綴 記述法 ペン
22-30	十一日公選に関するマスコミの雑論	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆、ペン
22-31	三選への道	鈴木貞一		昭和43年7月28日	数量 1綴 記述法 ペン
22-32	政局担当継続の言明	鈴木貞一		昭和43年8月4日	数量 1綴 記述法 ペン
22-33	三選の弁	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
22-34	チェコ事件大観、来るべき公選	鈴木貞一		昭和43年8月25日	数量 1綴 記述法 ペン、鉛筆
22-35	国際道義的観点	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
22-36	秘 松永氏	鈴木貞一		8月18日	数量 1綴 内容 会談録 記述法 ペン
22-37	九月五日三木氏と会談	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
22-38	三選後取り組むべき重要課題	鈴木貞一		昭和43年10月10日	数量 1綴 記述法 ペン
22-39	教育と云ふことは云ふ迄もなく人対人の問題である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-40	集団暴力行為に就て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 鉛筆
22-41	暴動鎮圧方策に就	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-42	人事折衝に就て	鈴木貞一		昭和43年10月10日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
22-43	〔川島との問答〕	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-44	秘 川島氏	鈴木貞一		8月22日	数量 1綴 内容 会談録 記述法 ペン
22-45	十一月四日川島との会談概要	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-46	如月会研究のため	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-47	秘〔川島との問答〕	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-48	今次の如くソ連が国際道義を無視して之の同盟国に対して軍事的行為に出てる所以	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
22-49	今般人事の選衝に当りては応機適策の遂行に遺憾なからしむる	鈴木貞一		10月10日	数量 1綴 記述法 ペン
22-50	パリ会議に就ての一考察	鈴木貞一		昭和43年5月20日	数量 1綴 記述法 ペン
23-0	封筒「45年度起案」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 内容物は封筒に入っていた順に配列 合綴注記 もと資料番号23-1～43を収納
23-1	ニクソン氏との会談参考	鈴木貞一		昭和45年10月5日	数量 1綴 記述法 ペン
23-2	四選とマスコミ動向	鈴木貞一		昭和45年9月25日	数量 1綴 記述法 ペン
23-3	国連総会出席に臨むに就て	鈴木貞一		昭和45年8月28日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
23-4	格調高き国連二十五周年祝賀総会に於ては現在及将来に於ける我国の国際的地位と責任とに省み且つは現国際社会の実相に照らして我国の平和憲法の精神に則り世界平和推進の旗手は原爆犠牲国として平和主義に転したる日本民族なり	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-5	米中関係思索一端	鈴木貞一		昭和45年12月5日	数量 1綴 記述法 ペン
23-6	終戦後二十五年にして米国は極東政策の上にも大きな変化か始まりつつあるやに察せらあることとて米極東政策の過去を検討して之の中に流れる不変性を発見することも徒事ではない	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-7	対中共施策資料	鈴木貞一		昭和45年2月15日	数量 1綴 記述法 ペン
23-8	軍国主義論議に就て	鈴木貞一		昭和45年8月25日	数量 1綴 記述法 ペン
23-9	内外近時を通し我国の軍国主義の論議が横行	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-10	我国の経済繁栄に関し数年来海外に於て諸々の反応が起りつつある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-11	公害問題思索一端	鈴木貞一		昭和45年8月5日	数量 1綴 記述法 ペン
23-12	総理の四選に就て	鈴木貞一		昭和45年6月21日	数量 1綴 記述法 ペン
23-13	政権担当六年	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
23-14	経済発展と日米関係の将来	鈴木貞一		昭和45年6月25日	数量 1綴 記述法 ペン
23-15	考えられないことを考える	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-16	思出で（ママ）の一端(同期生会誌へ)	鈴木貞一		6月11日	数量 1綴 記述法 ペン
23-17	米軍のカンボチャ進攻に就ての内省	鈴木貞一		昭和45年5月5日	数量 1綴 記述法 ペン
23-18	カンボチャ問題の内省	鈴木貞一		昭和45年5月5日	数量 1綴 記述法 ペン
23-19	国家的見地に立つ時総理の四選は殆んど不可避的要請である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-20	京都の知事選は敗るべくして敗したと云ふ感が深い	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-21	日中共同声明に就て	鈴木貞一		昭和45年4月17日	数量 1綴 記述法 ペン
23-22	我国の対中政策は我国世界政策の一局である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-23	繊維問題一考察	鈴木貞一		昭和45年3月18日	数量 1綴 記述法 ペン
23-24	四五、三、七佐藤氏と会談要旨	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-25	七〇年代の日米	鈴木貞一		昭和45年3月1日	数量 1綴 記述法 ペン
23-26	七〇年代日米関係に就ての反省	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-17	秘 第二稿総裁公選思索一端（四選の弁）	鈴木貞一		昭和45年2月1日	数量 1綴 記述法 ペン
23-28	秘 第一稿総裁公選思索一端（四選の弁）	鈴木貞一		昭和45年2月1日	数量 1綴 記述法 ペン
23-29	ソ議長との会談参考 特に領土問題	鈴木貞一		昭和45年1月31日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
23-30	今後政局指導に就て	鈴木貞一		昭和45年1月3日	数量 1綴 記述法 ペン
23-31	総選挙の結果に思ふ	鈴木貞一		昭和45年1月3日	数量 1綴 記述法 ペン
23-32	米国のアジア政策	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
23-33	米中会談思索	鈴木貞一		昭和45年2月10日	数量 1綴 記述法 ペン
23-34	センイ問題	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-35	軍国主義トライチゲの思想	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
23-36	近時人間の回復と云ふ言葉が盛に行はれている	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-37	ソ連海軍の演習	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-38	中朝の共同声明や中共新聞等に於て我国の軍国主義化を云々して佐藤内閣を激しく非難しある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-39	現代に生を営みその世相にいきつつ予か育ちたる明治三、四十年代の世相を省みる時万感交々至るのてある	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-40	ニクソン氏は之の年頭教書の中て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-41	国際的平和	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
23-42	我国が敗戦後の荒廃の中から僅々二十余年にして今日の如き経済的繁栄を齎らしたることは確かに世界の驚きてあり	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン
23-43	米中ソ関係と日本	鈴木貞一		昭和45年1月5日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
3.回想（原本） (資料番号24～52)					
24	回想①	鈴木貞一			数量 1綴 内容 出生～士官候補生 記述法 ペン 備考 資料番号53に翻刻あり
25	回想②	鈴木貞一			数量 1綴 内容 士官候補生～中尉 記述法 ペン 備考 資料番号54に翻刻あり
26	回想③	鈴木貞一			数量 1綴 内容 中尉(陸大、参謀本部、大蔵省) 記述法 ペン 備考 資料番号55に翻刻あり
27	回想④	鈴木貞一			数量 1綴 内容 中尉(大蔵省、中国私費旅行)～大尉(参謀本部、尼港出張、上海駐在武官補佐官、参謀本部作戦課) 記述法 ペン 備考 資料番号56に翻刻あり
28	回想⑤	鈴木貞一			数量 1綴 内容 大尉(参謀本部作戦課、北京駐在) 記述法 ペン 備考 資料番号57に翻刻あり
29	回想⑥	鈴木貞一			数量 1綴 内容 大尉(北京駐在)、少佐(歩兵第48連隊、武漢、北京出張) 記述法 ペン 備考 資料番号58に翻刻あり
30	回想⑦	鈴木貞一			数量 1綴 内容 少佐(英国出張、中国公使館附武官補佐官)、中佐(軍務局附) 記述法 ペン 備考 資料番号59に翻刻あり
31	回想⑧	鈴木貞一			数量 1綴 内容 中佐(軍務局附)～大佐(歩兵第14連隊連隊長)～少将(第16師団司令部、第三軍参謀長) 記述法 ペン 備考 資料番号60に翻刻あり
32	回想⑨「支那関係」	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 資料番号61に翻刻あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
33	回想⑩「支那関係」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 資料番号32「回想⑨」からの続き 記述法 ペン 備考 資料番号62に翻刻あり
34	回想⑪「大臣時代近衛公関係 一」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 中将、国務相、企画院総裁 記述法 ペン 備考 資料番号63に翻刻あり
35	回想⑫「大臣時代二」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 国務相、企画院総裁 記述法 ペン 備考 資料番号64に翻刻あり
36	回想⑬「内閣三」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 内閣顧問 記述法 ペン 備考 資料番号65に翻刻あり
37	回想⑭「内閣四」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 内閣顧問 記述法 ペン 備考 資料番号66に翻刻あり
38	回想⑮「五内閣」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 内閣顧問 記述法 ペン 備考 資料番号67に翻刻あり
39	回想⑯「終戦後」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 裁判、巢鴨、釈放後における佐藤内閣、田中内閣、三木内閣とのかかわり方 記述法 ペン 備考 資料番号68に翻刻あり
40	回想⑰「六交友」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 井上三郎、上原勇作 記述法 ペン 備考 資料番号69に翻刻あり
41	回想⑱「七交友」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 田中義一、宇垣一成、近衛文麿 記述法 ペン 備考 資料番号70に翻刻あり
42	回想⑳「八校友」	鈴木貞一			数量 1綴 内容 近衛文麿、「予と政治家の一節」、 「予と財界人との一節」 記述法 ペン 備考 資料番号71に翻刻あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
43	回想㉑「交友関係出合へ」	鈴木貞一		昭和51年1月	数量 1綴 内容 士官候補生時代以来、今日まで出合った人々の名前を挙げている 記述法 ペン
44	回想㉒「号外 宗教生活」	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 資料番号72に翻刻あり
45	回想㉓「家歴史起稿、家系」	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 資料番号73に翻刻あり
46	回想「張作霖死、反共説蔣」	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 資料番号74に翻刻あり
47	荷札「思出の記 終戦迄、附我家の歴史」、紐				数量 1枚+1本 記述法 墨書、鉛筆 合綴注記 もと資料番号24~46を括っていた
48	大正年代記	鈴木貞一			数量 1綴(5枚) 内容 政治史年表 記述法 ペン
49	研究要目	鈴木貞一			数量 1綴(11枚) 内容 明治44年~昭和6年までの中国の政治史年表 記述法 ペン
50	回想メモ	鈴木貞一			数量 1綴(19枚) 内容 明治45年~昭和28年までの自身の年表 記述法 ペン
51	経歴メモ、メモ抜粋	鈴木貞一			数量 2綴 内容 小学校時代~巣鴨出所後までのトピックメモ 記述法 ペン 備考 資料番号75に翻刻あり
52	後記	鈴木貞一			数量 1綴 内容 巣鴨時代の回想 付属資料 「昭和二十八年次の知人」、1綴 記述法 ペン 備考 付属資料はもとノートの真ん中のページに挟み込み

4.回想（翻刻）
（資料番号53~76）

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
53	鈴木貞一思い出の記1				数量 5枚 内容 資料番号24「回想①」の翻刻 記述法 印刷 備考 原本の冒頭の年表等の部分は省略され翻刻
54	鈴木貞一思い出の記2				数量 7枚 内容 資料番号25「回想②」の翻刻 記述法 印刷
55	鈴木貞一思い出の記3				数量 5枚 内容 資料番号26「回想③」の翻刻 記述法 印刷
56	鈴木貞一思い出の記4				数量 7枚 内容 資料番号27「回想④」の翻刻 記述法 印刷
57	鈴木貞一思い出の記5				数量 12枚 内容 資料番号28「回想⑤」の翻刻 記述法 印刷
58	鈴木貞一思い出の記6				数量 7枚 内容 資料番号29「回想⑥」の翻刻 記述法 印刷
59	鈴木貞一思い出の記7				数量 7枚 内容 資料番号30「回想⑦」の翻刻 記述法 印刷
60	鈴木貞一思い出の記8				数量 5枚 内容 資料番号31「回想⑧」の翻刻 記述法 印刷
61	鈴木貞一思い出の記9				数量 6枚 内容 資料番号32「回想⑨「支那関係」」の翻刻 記述法 印刷
62	鈴木貞一思い出の記10				数量 4枚 内容 資料番号33「回想⑩「支那関係」」の翻刻 記述法 印刷
63	鈴木貞一思い出の記11				数量 7枚 内容 資料番号34「回想⑪「大臣時代 近衛公関係 一」」の翻刻 記述法 印刷
64	鈴木貞一思い出の記12				数量 10枚 内容 資料番号35「回想⑫「大臣時代 二」」の翻刻 記述法 印刷

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
65	鈴木貞一思い出の記13				数量 6枚 内容 資料番号36「回想⑬「内閣 三」」の翻刻 記述法 印刷
66	鈴木貞一思い出の記14				数量 6枚 内容 資料番号37「回想⑭「内閣 四」」の翻刻 記述法 印刷
67	鈴木貞一思い出の記15				数量 6枚 内容 資料番号38「回想⑮「五 内閣」」の翻刻 記述法 印刷
68	鈴木貞一思い出の記16				数量 3枚 内容 資料番号39「回想⑯「終戦後」」の翻刻 記述法 印刷
69	鈴木貞一思い出の記18 交友記1				数量 6枚 内容 資料番号40「回想⑰「六 交友」」の翻刻 記述法 印刷
70	鈴木貞一思い出の記19				数量 7枚 内容 資料番号41「回想⑱「七 交友」」の翻刻 記述法 印刷
71	鈴木貞一思い出の記20				数量 7枚 内容 資料番号42「回想⑳「八 校友」」の翻刻 記述法 印刷
72	鈴木貞一思い出の記22 宗教生活				数量 5枚 内容 資料番号44「回想㉒「号外 宗教生活」」の翻刻 記述法 印刷
73	鈴木貞一思い出の記 家歴史家系				数量 2枚 内容 資料番号45「回想㉓「家歴史起稿、家系」」の翻刻 記述法 印刷
74	鈴木貞一回想 張作霖死 反共説蔣				数量 16枚 内容 資料番号46「回想 「張作霖死、反共説蔣」」の翻刻 記述法 印刷

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
75	経歴メモ				数量 3枚 内容 資料番号51「経歴メモ、メモ抜粋」の翻刻 記述法 印刷
76	〔系図、資料目録〕	寄贈者作成カ			数量 2枚 記述法 ペン
5.日記（資料番号77～111）					
77	日記(20年9月14日より)	鈴木貞一		昭和20年9月14日～昭和21年2月28日	数量 1綴 付属資料 漢詩、16枚 記述法 墨書、ペン 備考 付属資料はもと11月21日に挟み込み
78	日記(21年)	鈴木貞一		昭和21年3月1日～5月31日	数量 1綴 記述法 墨書
79	日記(日記)	鈴木貞一		昭和21年6月1日～11月12日	数量 1綴 付属資料 「PLEASURE ISLAND」(掲載紙不明切抜)、1枚 記述法 墨書 備考 付属資料は、もと表表紙見返しのページに挟み込み
80	日記	鈴木貞一		昭和21年11月15日～12月31日	数量 32枚 記述法 鉛筆
81	日記	鈴木貞一		昭和22年1月1日～19日	数量 11枚 記述法 鉛筆
82	日記	鈴木貞一		昭和22年1月20日～7月22日	数量 1綴 付属資料 読書録、1綴 記述法 墨書 備考 付属資料はもと7月16日に挟み込み
83	日記(昭和廿二年七月廿三日起)	鈴木貞一		昭和22年7月23日～10月14日	数量 1綴 記述法 墨書
84	日記(昭和廿二年十月十五日起)	鈴木貞一		昭和22年10月15日～23年1月19日	数量 1綴 記述法 墨書
85	日記(昭和廿三年一月廿日起)	鈴木貞一		昭和23年1月20日～4月15日	数量 1綴 記述法 墨書
86	日記	鈴木貞一		〔昭和23年〕4月18日～11月8日	数量 197枚 記述法 鉛筆

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
87	日記(自昭和廿三年十一月二日至同廿四年一月三十一日)	鈴木貞一		昭和23年11月12日～24年1月31日	数量 1綴 付属資料 (1)「THE NEWS IN 1948」(NIPPON TIMES MAGAZINE, JANUARY 7, 1949記事切抜)、1枚/(2)為鈴木君(和歌)、1枚 記述法 墨書、鉛筆 備考 付属資料(1)はもと12月31日の3頁目、(2)はもと最終頁に挟み込み
88	日記(自昭和廿四年二月一日至同年九月廿一日)	鈴木貞一		昭和24年2月1日～9月14日	数量 1綴 付属資料 「トーマスライエル 日本の青年」(『朝日新聞』記事切抜)、1枚 記述法 墨書 備考 付属資料はもと3月23日に挟み込み。日付については表紙の表記と実際の記載日にずれあり。
89	日記(自昭和廿四年九月廿二日至同廿五年四月一日)	鈴木貞一		昭和24年9月2日～昭和25年3月31日	数量 1綴 付属資料 和歌、1枚 記述法 墨書 備考 付属資料はもと12月31日に挟み込み。日付については表紙の表記と実際の記載日にずれあり。
90	日記(自昭和廿五年四月一日至同十月十九日)	鈴木貞一		昭和25年4月1日～10月19日	数量 1綴 記述法 墨書
91	日記(自昭和廿五年十月二十日至廿六年一月三十一日)	鈴木貞一		昭和25年10月20日～昭和26年1月31日	数量 1綴 付属資料 (1)「チャーチル大戦回顧録4-43」(『毎日新聞』記事切抜、書込みあり)、1枚/(2)外国語メモ、1枚/(3)名刺(入江湊)、1枚 記述法 墨書 備考 付属資料(1)(2)はもと11月29日に、(3)はもと最終頁に挟み込み
92	日記(自昭和廿六年二月一日至同年六月十四日)	鈴木貞一		昭和26年2月1日～6月14日	数量 1綴 付属資料 (1)清水和歌舞踊団(プログラム)、1枚/(2)水墨画、2枚/(3)紅葉などのしおり、1枚/(4)世界地図、1枚/(5)外国語メモ、4枚 記述法 墨書 備考 付属資料(1)はもと2月23日、(2)～(5)はもと最終頁に挟み込み
93	日記(自昭和廿六年六月十五日至同九月七日)	鈴木貞一		昭和26年6月15日～9月7日	数量 1綴 付属資料 (1)書簡の下書き、1枚/(2)「Indian Note to U.S」(掲載紙不明記事切抜)、1枚 記述法 墨書 備考 付属資料(1)はもと6月23日、(2)はもと8月13日に挟み込み

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
94	日記(自昭和廿六年九月八日)	鈴木貞一		昭和26年9月8日～12月9日	数量 1綴 付属資料 外国語メモ、2枚 記述法 墨書 備考 付属資料はもと表表紙見返しに挟み込み
95	日記(27年)	鈴木貞一		昭和26年12月10日～昭和27年3月26日	数量 1綴 付属資料 (1)墨画、1枚/(2)「物価今年は強気か弱気か」、1枚/(3)墨画、1枚/(4)「ソ連の真予算」、1枚/(5)「対立する米英」、1枚/(6)「恐慌の赤信号」、1枚/(7)野村梅子葉書、1枚/(8)「The Risk in Asia」、1枚/(9)「4つのソ連平和攻勢」、1枚/(10)「米の国防生産」、1枚/(11)「対日理事会は消滅」、1枚/(12)「Dead End at Panmunjom」、1枚/(13)「米国防生産足踏み」、1枚/(14)「米英よりも嚴重に」、1枚/(15)墨画、1枚 記述法 墨書 備考 付属資料(1)はもと12月20日、(2)(3)はもと12月31日の4頁目(「大島、賀屋」と書かれた頁)、(4)はもと2月28日の3頁目(「貞範等八」と書かれた頁)、(5)はもと「昭和廿七年三月六日記」と書かれた頁、(6)はもと「本日彼岸」と書かれた頁、(7)～(10)はもと「昭和廿七年三月二十一日夕記ス」と書かれた頁、(11)～(12)はもと「三月廿六日夕」と書かれた頁、(13)～(15)はもと裏表紙見返しに挟み込み。(1)(3)(15)の墨画以外は記事切抜。
96	日記	鈴木貞一			数量 1枚 内容 断片 記述法 鉛筆
97	無著録	鈴木貞一			数量 1冊 内容 経文、和歌、漢詩、絵 記述法 墨書、鉛筆 備考 巢鴨時代カ。
98	日記(当用日記)	鈴木貞一		昭和28年1月1日～12月31日	数量 1冊 付属資料 (1)桜の葉のしおり、1枚/(2)メモ「橋の上から親子三人で」、1枚 記述法 ペン 備考 付属資料(1)はもと8月25日の頁に、(2)はもと裏表紙見返しに挟み込み
99	日記(経済日記)	鈴木貞一		昭和29年1月1日～12月31日	数量 1冊 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
100	日記(随想日記)	鈴木貞一		昭和30年9月17日～昭和31年2月29日、昭和37年3月12日～12月31日、昭和39年2月9日、8月1日	数量 1冊 記述法 ペン
101	日記(自由日記)	鈴木貞一		昭和39年1月1日～12月31日	数量 1冊 付属資料 (1)付箋「39」、1枚、(2)付箋「39年」、1枚 記述法 ペン 備考 付属資料(1)はもとと表表紙見返しに、(2)はもとと1月1日の頁に挟み込み
102	日記(標準自由日記)	鈴木貞一		昭和40年1月1日～12月31日	数量 1冊 記述法 ペン
103	日記(標準自由日記)	鈴木貞一		昭和41年1月1日～12月31日	数量 1冊 付属資料 (1)付箋「S.41」、1枚/(2)自身の履歴書、1綴 記述法 ペン 備考 付属資料(1)はもとと表紙に貼付。(2)はもとと裏表紙見返しに挟み込み。
104	日記(標準自由日記)	鈴木貞一		昭和42年1月1日～12月31日	数量 1冊 付属資料 (1)コーヒーについてのメモ、1枚/(2)「主流グループ伸びる自民の派閥、かなり変化」(掲載紙不明記事切抜)、1枚/(3)「中共頭目の権力闘争はまだ終わっていない」(掲載紙不明記事切抜)、1枚/(4)「自民党派閥一覧表」(掲載紙不明記事切抜)、1枚 記述法 ペン 備考 付属資料はもとすべて裏表紙見返しに挟み込み
105	日記(標準自由日記)	鈴木貞一		昭和43年1月1日～12月31日	数量 1冊 付属資料 付箋「43」、1枚 記述法 ペン 備考 付属資料はもとと表表紙見返しに挟み込み

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
106	日記(日々の思ひ出)	鈴木貞一		昭和44年1月1日～12月31日	<p>数量 1冊</p> <p>付属資料 (1)付箋「44」1枚/(2)「首相の訪米日程発表」(『毎日新聞』記事切抜)、1枚/(3)「財界人脈1」(掲載紙不明記事切抜)、1枚/(4)「どう動く佐藤新体制」(掲載紙不明記事切抜)、1枚/(5)「目立つ中国要職夫人の進出」(『朝日新聞』記事切抜)、1枚/(6)「池田三選決起大会の出席者1」(掲載紙不明記事切抜)、1枚/(7)付箋「44年80才」、1枚</p> <p>記述法 ペン</p> <p>備考 付属資料(1)はもと表表紙に貼付(剥がれている)、(1)～(6)はもと表表紙見返しに挟み込み、(7)はもと外来語辞典の頁に挟み込み</p>
107	日記(菩提樹)	鈴木貞一		昭和45年1月1日～12月31日	<p>数量 1冊</p> <p>付属資料 付箋「45」、1枚</p> <p>記述法 ペン</p> <p>備考 付属資料はもと表表紙に貼付(剥がれている)</p>
108	日記(歳時記)	鈴木貞一		昭和46年1月1日～12月31日	<p>数量 1冊</p> <p>付属資料 電話番号メモ、3枚</p> <p>記述法 ペン</p> <p>備考 付属資料はもと1月1日の頁に挟み込み</p>
109	日記(歳時記)	鈴木貞一		昭和47年1月1日～12月31日	<p>数量 1冊</p> <p>付属資料 (1)「衆院の新勢力分野」(掲載紙不明切抜)、1枚/(2)付箋「47年84才」、1枚/(3)「首相官邸26日」(掲載紙不明切抜)、1枚/(4)書名メモ、1枚/(5)「首相の新春記者会見内容」(掲載紙不明切抜)、1枚</p> <p>記述法 ペン</p> <p>備考 付属資料(1)はもと表表紙見返し、(2)(3)はもと2月26日「今日迄」の頁、(4)(5)はもと裏表紙見返しに挟み込み</p>
110	収納封筒(「巣鴨日記」バラバラの帳面)				<p>数量 1枚</p> <p>合綴注記 もと資料番号80～81、85、95を収納</p>
111	荷札「巣鴨時代日記」、紐	鈴木貞一			<p>数量 1枚+1本</p> <p>記述法 墨書、ペン</p> <p>備考 荷札には「欠編あるは帳面の不足なりしたためなり」とある</p> <p>合綴注記 もと資料番号77～95を括っていた</p>

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
6.意見書等（2022年追加分）（資料番号1001～1004）					
1001	46年度起案				備考 もと枝番1～22は枝番0（封筒）に番号の順で収納されていた。
1001-0	空封筒「46年度起案」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン 用紙 電力中央研究所封筒
1001-1	加ふるに日米間に於ても沖縄返還を迎へ経済関係を中心に新たな変化を見んとしつゝある首脳会談に就て	鈴木貞一		昭和46年11月28日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「28/12佐藤氏へ郵送」とあり
1001-2	印パ紛争一考察	鈴木貞一		昭和46年12月18日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「20/12佐藤氏へ郵送」とあり
1001-3	印パ紛争	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1001-4	保健国策の樹立に就て	鈴木貞一		昭和46年7月8日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「10/7佐藤氏へ郵送」とあり
1001-5	防衛問題、司法権の独立問題等と関連して憲法問題が政治上の重要課題として来るべき参院選の争点化することは必定である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1001-6	重ねて日米関係内省	鈴木貞一		昭和46年10月10日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 第三稿。「16/10佐藤氏に手交説明」とあり。
1001-7	重ねて日米関係内省	鈴木貞一		昭和46年8月25日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 第二稿
1001-8	日米関係内省	鈴木貞一		昭和46年8月18日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「21/8佐藤氏へ郵送25日談合説明」とあり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1001-9	ニクソン大統領の訪中に就て	鈴木貞一		昭和46年7月20日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 赤字修正なし。「23/7佐藤氏へ郵送」とあり。
1001-10	ニクソン大統領の訪中に就て	鈴木貞一		昭和46年7月20日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 赤字修正あり。「23/7佐藤氏へ郵送」とあり。
1001-11	我国は国家の本質としての国際環境よりして日米の一体的協力を以て国策の基調となしその内外政策を推進し来り	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1001-12	内閣改造に就て	鈴木貞一		昭和46年6月10日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「17/6佐藤氏に手交」とあり
1001-13	今回の航空機事故か自衛隊機と民間機との衝突事故であることは明か	鈴木貞一		昭和46年7月30日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「7/8佐藤氏に手交説明」とあり
1001-14	日米経済の不調和に就て	鈴木貞一		昭和46年6月15日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「17/6口頭に論述佐藤氏同意」とあり
1001-15	ソ連の漁業対度、我国の対中共姿勢不安を反映	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1001-16	米中関係調整の一駒	鈴木貞一		昭和46年4月10日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「16/4佐藤氏に手交」とあり
1001-17	経済問題を中心として芽ばいつゝある日米間の不調和現象は極めて重大である	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1001-18	参院選挙と沖縄問題	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 「22/5佐藤氏に手交」とあり
1001-19	覚書 貿易交渉 藤山氏と周会談	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1001-20	石油問題に就て	鈴木貞一		昭和46年2月5日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「11/2佐藤氏へ手交」とあり
1001-21	沖縄行政の一考察	鈴木貞一		昭和46年1月20日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「25/1佐藤氏に郵送」とあり
1001-22	年頭所感の一声	鈴木貞一		昭和46年1月5日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「8/1佐藤氏へ手交」とあり
1002	47年度-48年				備考 もと枝番1~18は枝番0(封筒)に番号の順で収納されていた。
1002-0	空封筒「47年度-48年」	鈴木貞一			数量 1枚 記述法 ペン 用紙 電力中央研究所封筒
1002-1	日中国交正常化交渉思索一端	鈴木貞一		〔昭和47年7月〕	数量 1綴 内容 新聞記事切抜「“ポスト毛”動き始めた中国(上、下)」含む 記述法 ペン、印刷 備考 「28/7佐藤氏に手交」とあり
1002-2	最近に於ける国際情勢上特に留意を要することは新ナショナリズムとも称すべき現象	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 「7/60 Satoへ」とあり
1002-3	ベトナム戦争は一月二十七日の和平協定の発表を以て表面上軍事的には一の区切を示し	鈴木貞一		昭和48年1月30日	数量 1綴 記述法 ペン
1002-4	長期に亘り政権を担当して経済的繁栄を招来しつゝ沖縄返還を初め幾多重要案件を解決し退くや我国最高の勲位を受け	鈴木貞一		昭和48年1月5日	数量 1綴 記述法 ペン
1002-5	現下の政局上最大の関心事は中央地方を通しての共産党勢力の伸長下に行はるゝ明年の参選である	鈴木貞一		昭和48年1月3日	数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1002-6	キ氏の来日が伝へらるゝや我国のマスコミはもの珍らけに何にか異状のことでも起つたかの如く騒ぎ立て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1002-7	日中国交正常化は極東の民族的史観に立つ限り誠に歓迎すへき事態なるが	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン 備考 「12/10佐藤氏に手交」とあり
1002-8	イスラエル空港事件内省	鈴木貞一		昭和47年6月4日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「7/6説明」とあり
1002-9	政権の移動に就て	鈴木貞一		昭和47年3月20日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「四七、五、一八、手交」「23/3口答にて佐藤氏に説明し大体同意」とあり
1002-10	自民党か時代の進運に則してその体質を改善しつゝ相当長きに亘り政権を担当し行くことは	鈴木貞一		昭和47年3月20日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「23/3佐藤氏に説明」とあり
1002-11	北ベトナムの今回の優勢は一昨年米中の接近か伝られた頃以来物心両面に亘るソ連の積極的支援の下に	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1002-12	現下のインドシナ情勢は遂に来るへきものが来れりとの感を深かからしむるものである	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン
1002-13	キッシンジャー氏の訪日に就て	鈴木貞一		昭和47年4月2日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「四、七、発送」とあり
1002-14	キ氏の訪日か伝〔らるゝや〕我国のマスコミは何にか異状なる事態でも起つたかの如くもの珍〔らけに〕騒ぎ立て	鈴木貞一			数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1002-15	ソ連外相の来訪に就て	鈴木貞一		昭和47年1月15日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「17/1郵送す、後ち面談説明」とあり
1002-16	ニクソン氏の訪中か進むにつれその成果に関し	鈴木貞一		昭和47年2月19日	数量 1綴 記述法 ペン
1002-17	防衛予算に基く政局現下の動揺は長期計画に立つ国防整備上誠に遺憾至極のことである	鈴木貞一		昭和47年2月20日	数量 1綴 記述法 ペン
1002-18	防衛予算問題に就て	鈴木貞一		昭和47年2月20日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 「26/2之に基き佐藤氏に直接詳細説明す特に建軍精神の必要力説す」とある
1003	CD-R (鈴木貞一による語り)				
1003-1	CD-R「①46 巢鴨時代 裁判、修養」	鈴木貞一			数量 1枚 備考 資料番号1004-1に対応する音声資料
1003-2	CD-R「②66 巢鴨時代 判決、所感」	鈴木貞一			数量 1枚 備考 資料番号1004-2に対応する音声資料
1003-3	CD-R「①66 巢鴨の終り頃 交友関係、井上氏中心」	鈴木貞一			数量 1枚 備考 資料番号1004-3に対応する音声資料
1003-4	CD-R「65 1、佐藤内閣への準備池田内閣打倒 2、佐藤内閣組閣(川島、田中、三木、福田) 互選処理(三木、前尾、川島、福田)」	鈴木貞一			数量 1枚 備考 資料番号1004-4に対応する音声資料
1003-5	CD-R「②66 交友関係 岸、佐藤氏」	鈴木貞一			数量 1枚 備考 資料番号1004-5に対応する音声資料
1004	CD-R「鈴木貞一による語り」の書き起こし				

鈴木貞一関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1004-1	巣鴨時代 裁判、 修養	鈴木貞一			数量 12枚 記述法 印刷 備考 資料番号1003-1の書き起こし
1004-2	巣鴨時代 判決、 所感	鈴木貞一			数量 15枚 記述法 印刷 備考 資料番号1003-2の書き起こし
1004-3	巣鴨の終り頃	鈴木貞一			数量 15枚 記述法 印刷 備考 資料番号1003-3の書き起こし
1004-4	佐藤内閣への準備 佐藤内閣の組閣	鈴木貞一			数量 13枚 記述法 印刷 備考 資料番号1003-4の書き起こし
1004-5	交友関係 岸、佐 藤氏	鈴木貞一			数量 16枚 記述法 印刷 備考 資料番号1003-5の書き起こし